

第 50 回フローインジェクション分析講演会報告

徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 竹内政樹

2012 年 11 月 16 日に徳島大学薬学部(徳島市蔵本キャンパス)に於いて、第 50 回フローインジェクション分析講演会が開催された。本講演会は、特別講演 1 件、招待講演 2 件、一般講演 15 件、新製品紹介 2 件、ポスター発表 19 件および 6 社による企業展示会で構成され、参加登録者は総勢 64 名であった。

午前のセッションは、9 時から始まり、田中秀治実行委員長(徳島大)の挨拶の後、今任稔彦フローインジェクション分析研究懇談会委員長(九州大)による第 50 回記念特別講演が行われた。懐かしい写真を交えながら、1984 年に開催された第 1 回講演会から今回に至るまでの道のりが紹介された(写真 1)。続いて、3 件の一般講演、Kate Grudpan 先生(Chiang Mai Univ., Thailand)による招待講演および同大学所属学生による 2 件の一般講演が行われた。フローインジェクション分析に関する研究は、日本と同様にタイでも非常に盛んであり、日本-タイ間の共同研究や学生間の交流が、近年盛んに進められている。午前のセッションの最後には、2012 年度の各賞授賞式が行われ、フローインジェクション分析進歩賞を大平慎一先生(熊本大)と筆者が受賞した。

午後のセッションは、13 時から始まり、4 件の一般講演、企業による 2 件の新製品紹介および学生による 4 件の一般講演が行われた。続いて、2 件の一般講演と外輪健一郎先生(徳島大)による「マイクロ流路を利用した工業用反応装置の開発」と題した招待講演が行われた。外輪先生は、特徴的な形状を有する深溝型のマイクロ流路を用いることで、流路内における流体の混合率を促進できることを紹介された。その後、17 時

からポスターセッションが始まり、19 件(うち 15 件が学生による発表)のポスター発表が行われた。

全ての講演が終了した後、場所をホテルグランドパレス徳島に移して 19 時より懇親会が行われた。懇親会は、田中実行委員長による徳島郷土料理の説明に始まり、和やかな雰囲気で進行した。懇親会の中頃には、先の一般講演またはポスター発表で優秀と認められた若手発表者に対する表彰式が行われ、若手優秀講演賞を Wasin Wongwilai 君(Chiang Mai Univ.)と奥野 涼君(広島大)、若手優秀ポスター賞を Suphasinee Sateanchok さん(Chiang Mai Univ.)、長井 淳君(熊本大)および宮崎亜珠美さん(徳島大)がそれぞれ受賞した(写真 2)。審査員からは、上記の学生以外にも優秀な発表者が数多くいたため、優秀賞の選出が非常に困難であったと伺っている。懇親会の終盤には、参加者全員による記念撮影を行い、続いて、長岡 勉 JFIA 編集委員長(大阪府立大)による挨拶および一本締めで、懇親会および本日の全日程を盛会のうちに終了した。筆者にとっても、多数の大変興味深い講演を聴くことができたと同時に海外研究者とも交流を深めることができ、大変有意義な一日であった。

最後になりましたが、本講演会に協賛に頂いた企業の皆様、フローインジェクション分析研究懇談会の関係者の皆様および会場運営を円滑に進めてくれた当研究室の学生諸君に心より感謝申し上げます。なお、今回のフローインジェクション分析講演会は、戸田 敬先生(熊本大)を世話人として熊本で開催されます。次の講演会で、読者の皆様とお会いできることを楽しみにしております。



写真 1 今任 FIA 研究懇談会委員長による第 50 回記念特別講演



写真 2 若手優秀賞受賞者(左から代理の藤原先生、Wongwilai 君、Sateanchok さん、長井君、宮崎さん)